

第 1619 回例会報告

令和1年10月24日(木) 小雨

会長挨拶

「宮坂陽子さん安らかに」

会長 西澤賢二



10月21日仲間の宮坂陽子さんが亡くなるという悲しい出来事がありました。いつも出合いの事を話していましたが惜別の話をするとは思っていませんでした。今回渡比した何人かは陽子さんに音楽会の写真を送り彼女に見てもらった事が出来ました。彼女は『諏訪湖ロータリークラブの活動は凄いい子供たちも一生懸命だね』の一言を最後に連絡が取れなくなりました。

ご冥福をお祈りいたします。

又、10日から渡比された方お疲れ様でした諏訪湖ロータリークラブの団結力に感動しました本当に、有難うございました

10月27日 地区大会(松本)へ行ってきました



幹事報告

今週の報告はございません

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば	
会員数	37人	名	22,000	本日の卓話五味さん北原さん楽しみにしております セブのお土産ありがとうございます	萩田均
出席対象	36人	累計	217,000		近江誠一
出席者数	25人	目標額	60万円		
出席率	69.4%	達成率	36.2%		
前回修正					



【第 1619 回例会】 会員卓話

高齢者・障害者の権利擁護

五味弘行会員

本年7月に諏訪湖ロータリークラブに入会をさせていただきました五味と申します。

今年の9月で弁護士登録して12年が立ちました。弁護士の業務も色々ありますが、私は、自身のライフワークとして高齢者・障害者の仕事に取り組んで入ります。高齢者・障害者に関する仕事も多岐にわたりますが、特に虐待の防止や成年後見を中心にしています。

いずれの仕事も、仕事としては正直ペイする仕事ではありませんが、高齢者・障害者の権利擁護のお手伝いができる仕事であり、非常にやりがいを感じています。今後も、高齢者・障害者が不安なく生活していける社会を実現するための一助になれるよう取り組んで生きたいと考えています。



私の履歴書と研修生受け入れのための組合

外国人労働者が楽な気持ちで働ける環境を提供したい

北原数也会員

皆さまこんにちは。SP 事業協同組合の北原です。

本日、新会員卓話という事でお話をさせていただきます。どうぞ、宜しくお願い致します。

私の事務局がございませぬ SP 事業協同組合は、主にフィリピン、ベトナム、タイの3か国から技能実習生を受入れている組合であります。

2007年に諏訪湖ロータリークラブのメンバー6名により設立をされた組合でありまして、当時はフィリピンへのボランティア奉仕活動を主として始まり、理事の企業のみでフィリピン人実習生の受入れを行っておりました。ですので、SP事業の組合名は、Sが諏訪湖ロータリークラブのSでPはフィリピンのPから頂いています。

最近になって、近隣企業、関連企業からのご紹介や、海外進出に伴う実習生の要望などが多数寄せられたため、現在は順調に組合員、実習生も増加しており、長野、愛知、滋賀、静岡、千葉県の5県に渡り活動をしています。

ここで私の自己紹介を致します。

私は、昭和42年に伊那市で生まれ、現在、南箕輪村 在住の52歳です。ご覧の通り、これといった特徴はありません。趣味はテレビでのスポーツ観戦、読書といったところでしょうか。

生まれた時期は高度経済成長の後半にあたり、2度のオイルショックを経て、就職時にはバブル景気によりまして就職市場は大幅に好転、大変な売り手市場の時期でした。いわゆるバブル世代です。

先日、『ウィキペディア(Wikipedia)』でバブル世代と検索したところ、次の様な説明がございました。

「バブル世代に対する批判意見・・・

バブル世代は、就職氷河期の前の企業の大量採用により苦勞せず、就職氷河期以前の価値観を持って入社し、さらに同期が多い。そのため、バブル世代は、就職氷河期以降の社会の考え方と合わず、自立心があまりなく依存体質であり会社の負担であるといわれており、一部では「花の90年組」と皮肉をこめて呼ぶ者もいる。一部の者が気性の激しいことから、会社内では部下に迷惑をかけるクラッシャー上司と呼ばれ、家庭では学校に不当なクレームをつけ、学校関係者に過度の負担を強い、ひいては他の



生徒や保護者に迷惑をかけるという現象が社会問題となったことから、その者たちをモンスターペアレンター呼んだ。」と、あります

世代的には印象が良くない世代です。すべてのバブル世代が当てはまるわけではありませんので、ここにも同年代の方もおられるかも知れませんが、気を悪くなさらないで聞いて頂きたいと思います。

そんな世代の私ですから、たしかにろくな就職活動もせず、楽をして、何となく大学卒業後に東京からUターンで長野へもどり、某バルブメーカーへ就職を致しました。伊那市にある工場で、生産現場から品証部へ移り、そこでは主に顧客に対する立会い検査の仕事に従事しておりました。

バルブですので、海外からの顧客も多く、サウジアラビア、アメリカ、ヨーロッパのお客様の要望に沿うよう、書類作成、製品説明、慣れない国際規格にふりまわされておりました。

10年ほど勤めたあたりで退職をいたしました。「自分で事業を興せるんじゃないか？」と考えたのです。

友人と2年ほどエクステリア事業を請け負って庭のデザインなどを行いましたがあまくいくはずがありませんでした。3年目には家族からのクレーム、プレッシャーに押し潰されまして、ハローワークへ通うようになりました。

そんな時、フライス加工会社の募集を見つけ、また会社員となるべく心を入れ替えて入社いたしました。この会社の社長は非常にワンマンな方で、理不尽な怒り方もされる社長でしたが、その分チャンスもたくさんいただきました。当時は、頂いたチャンスに、よくやったと言われたい、期待に応えたいという自分がいて、無理難題を克服する喜びすら感じておりました。これが今現在も非常に役に立っております。

また、この会社にはフィリピンからの研修生が多数在籍しており、研修生たちから、たくさんの事を学び、今の私の技能実習生の仕事に繋がってきています。

この会社ではちょうど自前で組合を設立し、自らの組合で研修生の受け入れを行う計画がありました。私は設立の事務局のメンバーに抜擢され無事組合を立ち上げる事ができました。それからは、組合の分裂等を経験し、さらにはリーマンショックで冷え切った人材雇用状況を乗り越えて、今、この場におられるSP事業の理事の方たちにお声をかけて頂き、ようやくSP事業協同組合にたどり着いた次第です。

私が、SPの事務局に来た当時はフィリピン人実習生のみでしたので、人数も限られておりました。もともと私は、ベトナムの送出し機関とご縁がありましたので、まずはベトナムからも受入れを行いたいとお願いしたところ、理事会で快くOKを頂きました。

それからは、私なりに計画を立て、5年間で100名の実習生受入れを目標にしておりました。この規模は中堅の組合規模といってもいい数字です。それが、理事の方々のご協力もあって、3年で達成することになり、慌てて事務局職員の増員をして監理体制を整えました。今年度の終わりには、200名弱の実習生の面倒をみることになる予定です。

現在、この外国人技能実習生については批判もあるのは確かです。現代版の奴隷制度だとか、人身売買だと評する方もおられますが、ですが、これらはほんの一握りの悪徳組合や、ブラックな受入企業のなすとこ

ろであり、現在全国で約28万人の技能実習生がおりますが、失踪や犯罪等はほんの数パーセントの話です。

特にベトナム人実習生についてかわいそうだと言う人も多いですが、本人達は意外とそうではありません。実際、私は日本に3年以上働いていたベトナム人に会って話をする機会が多いですが、意外な程、出会ったベトナム人全員がまた日本で働きたいと言っています。

理由としてはベトナムで仕事をした場合、時給が85円～100円でとても低いことがあります。なにより空気や衛生状態がよくない。そして多くのベトナム人が、「職場の日本人達がとても優しくしてくれた」など口にして、物凄く日本への出稼ぎを肯定的に捉えているベトナム人が多いです。

しかし、先程申し上げたように、ブラックな受入企業があるために、実習生先企業の職場での当たり外れは存在しているようです。ベトナム人に限らず、他の国々の実習生は、日本語が不自由だったり、借金をして日本に出稼ぎにきて身動きが取れなかったりと、様々なストレスがあると思います。ですから私は、外国人労働者がメンタル的に楽な気持ちで働ける環境を日本が提供できる事を強く望んでいきたいと思っています。

これから日本は、さらなる少子高齢化社会で労働人口が減少を辿っていく為に、外国人労働者の受け入れにますます積極的になっていくと思います。

今年4月に施行されました「特定技能」という在留資格がよい例です。

これらを踏まえまして、企業様と外国人技能実習生との橋渡しをうまくコントロールし、双方が良かったと思える技能実習制度を推し進めていくことが我々SP事業協同組合の使命と感じております。

先程の批評のありました、バブル世代の私ですが少しでも汚名を晴らせるよう頑張りたいと思います。また、今後は微力ではありますが、ロータリークラブの精神に則った国際貢献の一翼を担えれば、と思います。

以上、お聞き苦しい部分もあったと思いますが、これでわたくしの、新会員卓話を終わりにしたいと思います。最後までご清聴頂き、誠にありがとうございました。